

## ブロンコビリー(3091)



### — 客数増で既存店が堅調 —

東海地区を中心に関東や関西地区でステーキチェーンを展開するブロンコビリーが15日に発表した上期(1-6月期)決算は、売上高が前年同期比19.1%増、営業利益が同30.0%増と二桁の増収増益となり、売上高、営業利益とも中間期として過去最高を更新しました。会社計画に対しても売上高が2%以上、営業利益が7%近く上振れて着地し、順調な折り返しとなりました。

ブロンコビリーでは様々なキャンペーンやイベントを実施することで客数が伸びています。客数減を客単価アップで補う会社が目立つなかで、ブロンコビリーでは客数増を背景に既存店が伸びており、この上期の既存店売上高は2.0%増となっています。通期の既存店売上高はほぼ横ばいが前提となっていますが、上期の既存店が堅調な伸びをみせるなか保守的な計画にみえます。

通期の粗利益率の前提も保守的です。上期の粗利益率が1.1ポイント改善したのに対し、通期の粗利益率は0.2ポイントの改善に止まる計画となっています。足元で円高が進行していることや、牛肉の需給がオーストラリアからの中国や米国に対する輸出が減って緩んでいることなどを考慮すると粗利益率の一段の改善が期待できそうで、据え置きとなった通期予想の上振れもありそうです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会